



道しるべ

道德通信

上尾市立太平中学校
道德通信 第7号
令和6年12月13日(金)
発行者 校長 井浦 博史



手入れをするということは

1学年職員

照りつけるような、うだるような、あの暑さはいよいよ去り、気づけば今年もあとひと月。人が過ごしやすい気候になると、いつも私を悩ませるあの存在……。

芝生に紛れ込む緑。花壇の主演を奪い取る黄色。

庭の手入れをする時、土に触れると幼少期の感覚が蘇り、腰は痛くなるけれど元気になります。自分が地球に暮らす1つの生き物であることを自然は教えてくれている、そんな気持ちに浸れます。しかし、雑草は抜いても抜いても生えてくるので、人工芝や石を入れてみたり、芝生自体を剥がしてみたりと少しは挑戦のですが、なかなか理想は現実に近づけません。

ふと頭によぎるのは、手入れをされた庭園の様子です。雑草が1つも生えることなく、庭に色とりどりの花が咲いている様子や健康的な葉っぱを垂らしている様子。手入れの偉大さを感じますが、それはそれできちんと整頓されすぎていて案外面白味に欠けているようにも思います。ちょっぴり植物が窮屈で可哀そうです。

手入れも行き過ぎると植物らしさが出ないし、しなさすぎては荒地と化します。そうになるとなんでもバランスが大切なんだと気づかされます。皆さんは最近どうですか？バランスを意識して物事に望むと長続きするかもしれませんね。私も程ほどに庭いじりを楽しもうと思います。

Sticks and Stones

ALT

Sticks and Stones can Break my Bones, but words can never Hurt Me! I learned this from a book in elementary school. And I think it's an important life lesson. Words can't hurt if you don't believe them. Only sticks and stones will! Often, we can choose how we feel, but we can't control others.

So, we need to be strong sometimes and ignore negative people, who say nasty mean things to make themselves feel better. They say bad things to pull you down, not to build you up. Our family and friends pull us up. They help us flower into wonderful adults. But, if we let bad words into our hearts and give meaning to them, we will feel bad all the time. So, know your strengths' and allow yourself to be human with your weaknesses. You are the only you, after all. You are unique and special. Be you!

棒と石

【意訳】※直訳を分かりやすく表現したもの

ALT

「棒や石は私の骨を折るかもしれないが、言葉は決して私を傷つけない」私は小学校の時、ある本からこの言葉を学びました。そして、これは人生の大切な教訓であると私は思っています。どんな言葉でも自分が信じなければ、自身が傷つくことはありません。傷つくのは棒と石を投げられたときです！多くの場合、私たちは自分の気持ちをコントロールできますが、他人が投げかけてくる言葉をコントロールすることはできません。

だから、時には強くなって、ネガティブな人たちが投げかけてくる言葉を無視する必要があります。彼らはただ自分たちが楽しむために、あなたのためでなく、あなたを引きずり下ろすための悪口を言います。一方で家族や友人はあなたを素晴らしい大人に成長するために良い言葉を送ってくれます。しかしながら、もし私たちが悪口や悪い言葉だけを信じ、それに意味をもたせてしまったら、いつも嫌な気分になってしまいます。だから、そんな言葉に惑わされず、自分の長所を知り、短所も受け入れることが大切なのです。結局のところ、あなたはたった一人のあなたなのです。あなたは唯一無二の特別な存在です。あなたらしくいきましょう！



コミュニケーションには〇〇も大切

2学年職員

先日、全校三者面談が行われました。進路や学習面、生活面などについて話し合ったと思います。その時に思ったことがあります。人がコミュニケーションを取るときに何が大切かと…。

みなさんは、誰かとコミュニケーションを取るときにどんなことに気を配っていますか。私の場合は、「自分の話は相手にうまく伝わっているだろうか。」「相手はどんなことを話したいのだろう。」などと考えています。人類が今のように繁栄できたのは集団で生活し他者と協力する生活をしてきたからだと思います。そのなかで「コミュニケーション」はとても大切な役割を果たしたのは言うまでもありません。人間ほどたくさんの情報を他者と共有できる生き物はいません。では、コミュニケーションを取るときに大切なポイントは何でしょう。「言葉遣い」「声のトーン」「話すはやさ」「態度」…など、たくさんありますね。その中でもとくに人間が優れているものの一つが「表情」だそうです。人間にはいろいろな表情を作れるように他の動物よりも顔に細かい筋肉がたくさん備わっているそうです。

ここで、みなさんに伝えたいことは、「マスクについて」です。コロナ禍以降、普段からマスクをつけている人が増えました。しかし、受験のときの面接など、大切な場面では必ずマスクを外さなければならないときがあります。私もみなさんの笑顔をたくさん見たいです。普段のコミュニケーションでも表情を意識していきましょう。

信頼される人ってどんな人？

3学年職員

皆さんは、周りの人から「あの人は信頼できる」と思われた経験はありますか？逆に、信頼できるな、と感じた人はどんなひとでしたか？

信頼は、人間関係を築く上で、とても大切なものです。信頼される人になることは、自分自身にとっても、周りの人にとっても、心地よい人間関係を築く上で、とても大切なことです。皆さんは、信頼される人について、どのようなイメージをもっていますか？

- 約束を守る人…一度約束したことは、どのようなことがあっても守ろうとする誠実な人
- 正直な人…嘘をつかず、ありのままの自分をさらけ出せる心の広い人
- 相手の話を聞く人…相手の話をじっくり聞き、共感してくれる温かい心をもつ人
- 困っている人を助ける人…周りの人が困っているとき、進んで手を差し伸べる思いやりのある人
- 責任感がある人…自分に与えられた役割をしっかりと果たす責任感の強い人

これらの他にも、信頼される人になるためには大切なことがたくさんあります。
信頼される人になるために、私たちができること



- 言葉遣いに気を付けよう…相手の気持ちを考えて、丁寧な言葉遣いを心がけましょう。
- 相手の目を見て話そう…相手の話を聞くときは、しっかりと目を見て、真剣に耳を傾けましょう。
- 感謝の気持ちを伝えよう…何かしてもらった時は必ず「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えましょう。
- 約億は必ず守りましょう…一度約束したことは、必ず守りましょう。
- 周りの人を大切に、思いやりの心をもとう…周りの人の気持ちを考え、行動しましょう。

信頼は、積み重ねで生まれるものです。

信頼は、一朝一夕に築けるものではありません。日々の積み重ねによって、少しずつ育まれていくものです。例えば、笑顔で挨拶をする、困っている友達を助ける、小さなことでも感謝の気持ちを伝える…、こうした一つ一つの行動が、信頼関係を築く上でとても大切です。

信頼は、人間関係を円滑にするための潤滑油のようなものです。信頼される人になることは、自分自身を成長させるだけでなく、周りの人との関係をより良くする上で、とても大切です。

皆さんは、これからの人生の中で、たくさんの人と出会います。その人たちと良好な関係を築くためには、「信頼」を大切にすることが重要です。